

前回、「初冠雪ではなかった」を掲載しました。

今回の初冠雪報道の経緯は、初冠雪の定義が「最高気温後の積雪」とされています。8月4日の9.2度が今年度の最高気温と判断され、9月7日の積雪が初冠雪と報道されました。

しかし、9月20日に10.3度という値が観測され、8月4日より高い気温となり、最高気温が更新されました。結果、9月7日の初冠雪は見直され、9月20日以降の積雪が初冠雪となります。以後、山頂の積雪はすっかり溶けてしまいました。

9月26日午後4時過ぎ、甲府地方気象台の職員が山頂付近の積雪を目視で確認し、改めて、今年度の「富士山初冠雪」を発表しました。平年より6日、昨年より2日早い観測となりました。



昨夜の天気予報は、気温が下がり、冷え込むとありました。上掛けを一枚増やし、就寝。朝の富士はご覧のとおりです。

6時45分の撮影、寺田縄の定番の場所からの富士山です。山頂付近のみですが、白色の積雪が際立っています。静かな水田地帯、稲を刈るコンバインの作業音は聞こえません。まだ明けきらぬ、静かな朝です。

山頂の積雪は、厳しい冬の予兆でしょうか？



積雪量は不明ですが、がっちりとした山肌が確認できます。風雪厳しいのでしょうか。

富士は、一年を通して、いろいろな姿を見せてくれます。